



1 F 児童図書コーナー

『ぼうさいセブン』

もとした いづみ／文
ふくだ いわお／絵
あんどろ りす／監修



「地震が起きたらどうしたらいいの?」「何を準備しておけば安心なの?」そんな防災の疑問を、ゆいとはるとの家族と一緒に学んでみませんか? ぼうさいセブンがクイズをまじえて分かりやすく教えてくれるので、楽しく読み進められます。

9月1日は『防災の日』です。この機会に是非、家族みんなで防災について考え、もしもの時に役立つ知識を身につけましょう!



2 F 一般図書コーナー



置いてきぼりになってませんか? 「生成AI」



「最近よく聞けけれど、自分には関係ないかな……」そんな風に思いませんか? 生成AIの「難しそう」という先入観は横に置いて、まずはページをめくってみてください。

一歩踏み出すだけで、趣味も表現もぐっと広がる。そんなワクワクする未来への扉を、一緒に開きましょう。



『脳はAIにできないことをする』

茂木 健一郎／著

AIの進化に不安を感じる今こそ読みたい一冊。膨大なデータから正解を出すAIに対し、人間の脳が持つ「ひらめき」や「情緒」の価値を脳科学の視点で解き明かします。

AIを使いこなしつつ、人間にしかできない創造性を磨くための指針が詰まった、自分らしく生きる勇気をくれるガイド本です。



2 F ティーンズコーナー

「経済」を学ぼう!

～大人になる前に知っておきたいお金の話～



私たちは、毎日お金を使い、ニュースで「景気が悪い」「物価が上がっている」といった言葉を耳にします。

これらはすべて「経済」という大きな動きの一つであり、「経済」とは、人と人が必要なものやサービスを、お金を通してやり取りする仕組みのことです。

皆さんの身の周りに目を向けて、「経済」について学んでみませんか?

『13歳からの経済のしくみ・ことば図鑑』

花岡 幸子／著

中学生から大人まで、経済について知りたい読者のための本です。身近な家計から経済の仕組みを学びます。イラストを用いて分かりやすく説明しているので、楽しみながら学ぶことができる一冊です。



3 F 地域情報フロア

暮らしに溶け込むモノづくり

日本の陶芸のはじまりは、約1万2000年前の縄文土器とされています。

様々な文様を施された土器は、庶民の生活に欠かせない道具として時代ごとにその姿を変えてきました。石川県の九谷焼もその一つです。

これを機に、本を通じて陶芸品の魅力に触れてみませんか?



『やきもの文様事典』

陶工房編集部／編

縄文土器から始まった装飾と文様の変遷を踏まえて、古来からやきものに描かれてきた100種類もの文様を取り上げ、鑑賞ポイントなどを紹介する一冊です。

近代の巨匠である富本憲吉や、石川県工業学校(現・石川県立工業高等学校)で教鞭をとった板谷波山の作品の文様も紹介されています。

Column

暑い日が続きますが、風や雲、空気の匂いに小さな秋を感じる時節となりました。

9月は重陽の節句、お彼岸、お月見など季節の節目や収穫に感謝する行事がたくさんあります。

今年は家族でのんびりと日本の伝統行事を満喫したいと思っています。もちろん涼しい部屋で…。 (K)

